優秀賞（総合部門）

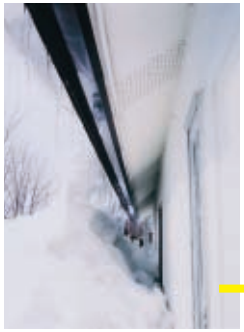
タイトル 築33年公社ブロック住宅再生

タイプ 持家一戸建

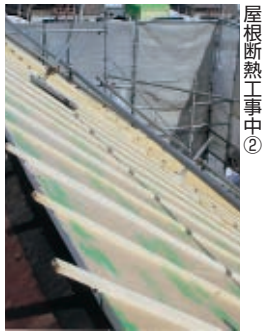
講評 北海道に多い三角屋根の古いブロック住宅。水回りの若干の増築が全体計画をやりやすくした大きなポイントであろう。美しいシルエットを崩すことなく、現代生活に見合う住宅性能を確保しており、汎用性が高いのでは。

リフォーム前後の写真

a


b

外部工事中①


屋根断熱工事中②

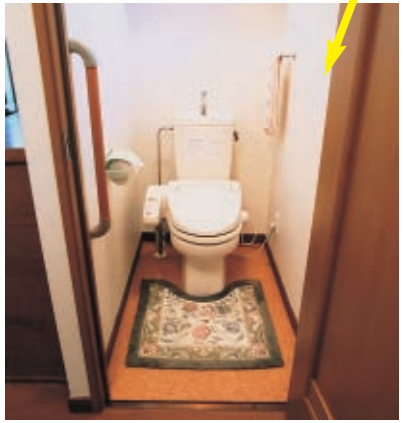
c

d

A

B

C


D

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想 など

《要望》

環境が気に入っているので定年退職後の夫婦2人の住まいをここに作り上げたい。ただし古いのでとにかく寒いのと、狭い点を解消したい。

《工夫点》

・寒い点についてはブロック外部からの外断熱、基礎断熱、屋根断熱を施し開口部分は全てLow-Eペアガラス樹脂サッシ、D1高断熱玄関ドアに取り替え、次世代省エネルギー基準クリアの高断熱高気密性能を持たせる。

・水回りにゆとりを与える為ユニットバスを部分増築し、空間に余裕を持たせた。結果ダイニングも広々しすっきりした。

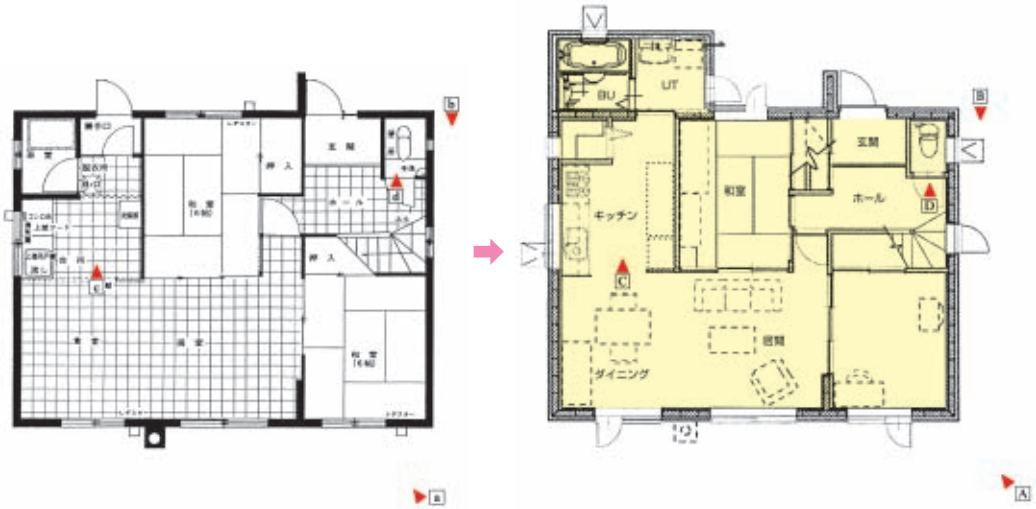
《施主感想》

「床面温度が少し上がり、室内に風が吹かなくなっただけでこんなに暖かくなるのかと思った。昔の家しか住んだことの無い人にはどこの部屋に行っても同じ温度というのは驚くが、快適なのは間違いない。リフォームでここまで変わるとは思わなかった。」

仕様：外断熱・基礎断熱・Low-Eペアガラスによる次世代省エネ仕様
全面壁倍率2.5倍、オリジナル耐震金物による耐震補強
第三種換気による計画換気

特に配慮した住宅性能： 次世代省エネ基準（高断熱・高気密） 耐震性能 空気環境 バリアフリー

データ

所在地	北海道江別市	構造／築後年数	ブロック 造／ 33 年
該当工事面積	69.6 ㎡	該当部分工事費	1,230 万円
居住者構成	2 人（大人〈15歳以上〉 2 人 子供 人）	ペット	猫
設計者	（株）ホームトピア	担当者	米島 一朗
施工者	同上	担当者	

リフォーム前 ／ リフォーム後